

**第24回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボール競技
茨城県大会結果速報(2日目男子第二試合)**

平成17年7月31日

【Aコート11時20分開始】 **男子1位リーグ第二試合**

習台二	39	8	VS	9	37	八代
		8		15		
10		2		山梨県		
13		11				
千葉県						

1Q 習台二がマンツーマン、八代がゾーンでスタート、両チームとも大型選手中心のオフェンスで対抗するも、お互いプレッシャーの効いたディフェンスの為にアウトサイドからの勝負となる。八代が のブザービーターで1点リードとして終了。

2Q 体格差で優位な習台二は 中心に組み立てを計るが、八代の執拗なスピード溢れるディフェンスに手こずりターンオーバーを繰り返す。八代8点リードで後半へ。

3Q 習台二のインサイド攻撃に対し必死のディフェンスを試みる八代にファールがかさむ。習台二は のスチールからリズムを掴み加点。残り9秒でついに同点に追い着く。

4Q 八代は7ファールからの苦しいスタート。習台二の好ディフェンスで にボールが入らない八代だったが2本決め先行。習台二はインサイドにボールを集め再逆転し残り1分6点リード。最後八代が粘りを発揮し1ゴール差まで詰めるもタイムアップ。

総評 習台二は八代のエースをしっかりとしたディフェンスで抑え、3人のインサイドプレーヤーで得点を重ね勝利した。一方の八代は厳しい低いディフェンスでスピード感もありとても印象的であった。

(戦評) 牧山 健一

【Bコート11時20分開始】 **男子2位リーグ第二試合**

高崎北部	41	10	VS	8	40	海老名中央
		12		6		
6		11		神奈川		
13		15				
群馬						

1Q 高崎北部マンツーマン、海老名ゾーンでスタート。序盤お互いに様子を見る状態で、中盤から高崎 のドライブイン、海老名 のミドルシュートなどで1ゴール差で終わる。

2Q お互い積極的に攻めに行くが決定打がなく、中盤高崎 のアウトサイドシュートで突き放しにかかる。海老名 のゴール下シュート、 のドライブインなどで追いつくが8点差で前半終了。

3Q 高崎北部はリズムに乗れず得意のアウトサイドシュートが決まらず。逆に海老名のリバウンドからの速攻やリバウンドシュートで、このクォーター6-11で海老名が初めて取る。

4Q 序盤、海老名 がリバウンドを頑張り、連続得点で同点に追いつく。中盤、高崎北部 のアウトサイドシュートでリードするが海老名 のドライブシュート等で再び同点。ブザー直前にシュートファールをし、高崎北部が1点差で逃げ切った。

総評 高崎北部 を中心のアウトサイドからの攻めと、海老名の身長を生かした攻めをどう戦うかが好カードとなる。両チームとも持ち味を充分に出し切り、見応えのあるゲームだった。

(戦評) 阿部 幸江

【Cコート11時20分開始】 **男子3位リーグ第二試合**

池の川	34	8	VS	7	32	開桜小
		12		8		
8		13		東京		
6		4				
茨城A						

1Q 立ち上がり池の川、開桜両チーム共ゾーンでスタート。両チーム共パス回しが上手くいかずなかなか得点が出来ない。開桜小は1Q目に7ファールをしてしまい守りが堅くなる。

2Q 池の川が開桜小が守りに戻る前に早い攻めから得点を重ねる。開桜小はパスミスが多く得点に苦しんだが、残り4秒、 のカットインからバスケットカウントで得点。後半この勢いでいけるが、

3Q 開桜小は前半最後の勢いのまま、 のカットインからファールを誘いながら得点を重ねる。池の川は がカットイン・ミドルを決め一進一退の攻防となり、同点で3Q終了。

4Q 最終Qも一進一退の攻防で始まり、開桜小の がミドルを放ち、池の川は のインサイドシュートで対抗する。最後の2分で開桜小のミスが目立ち34 - 32で終了する。

総評 前半、両チーム共パスミスが目立ったが後半は緊迫した攻防がひかかった。お互いに粘り強いディフェンスで、最後まで集中力を切らさず好ゲームだった。

(戦評) 渡辺 哲夫